



津波ハザードマップ^{全体版}

魚津市では、津波発生時の被害を最小限に抑え、日頃からの備えと防災意識の高揚を目的として「魚津市津波ハザードマップ」を作成しました。

地図上には、津波によって浸水が想定される範囲と深さを示しています。魚津市には地震発生から約2分と非常に短い時間で最大津波が到達し、津波高は1.3m~4.8mと想定されています。これは、あくまでも想定ですので、実際の災害時には地震の規模や詳細な地形の状況により、浸水範囲が大きくなる可能性がありますので注意して下さい。

浸水予測図について

富山県では、県内に津波の影響が大きいと考えられる3つの想定地震について、津波シミュレーション調査を行っています。調査結果によると、魚津市では、呉羽山断層帯の地震による津波被害が最も大きいと想定されています。

この魚津市津波ハザードマップは呉羽山断層帯の地震による津波の浸水予測図に基いて作成されています。

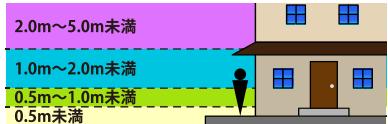


魚津市での津波の想定

津波高 1.3~4.8m
最大津波高到達時間 2分

津波浸水深予測範囲の見方

(浸水深のイメージ)



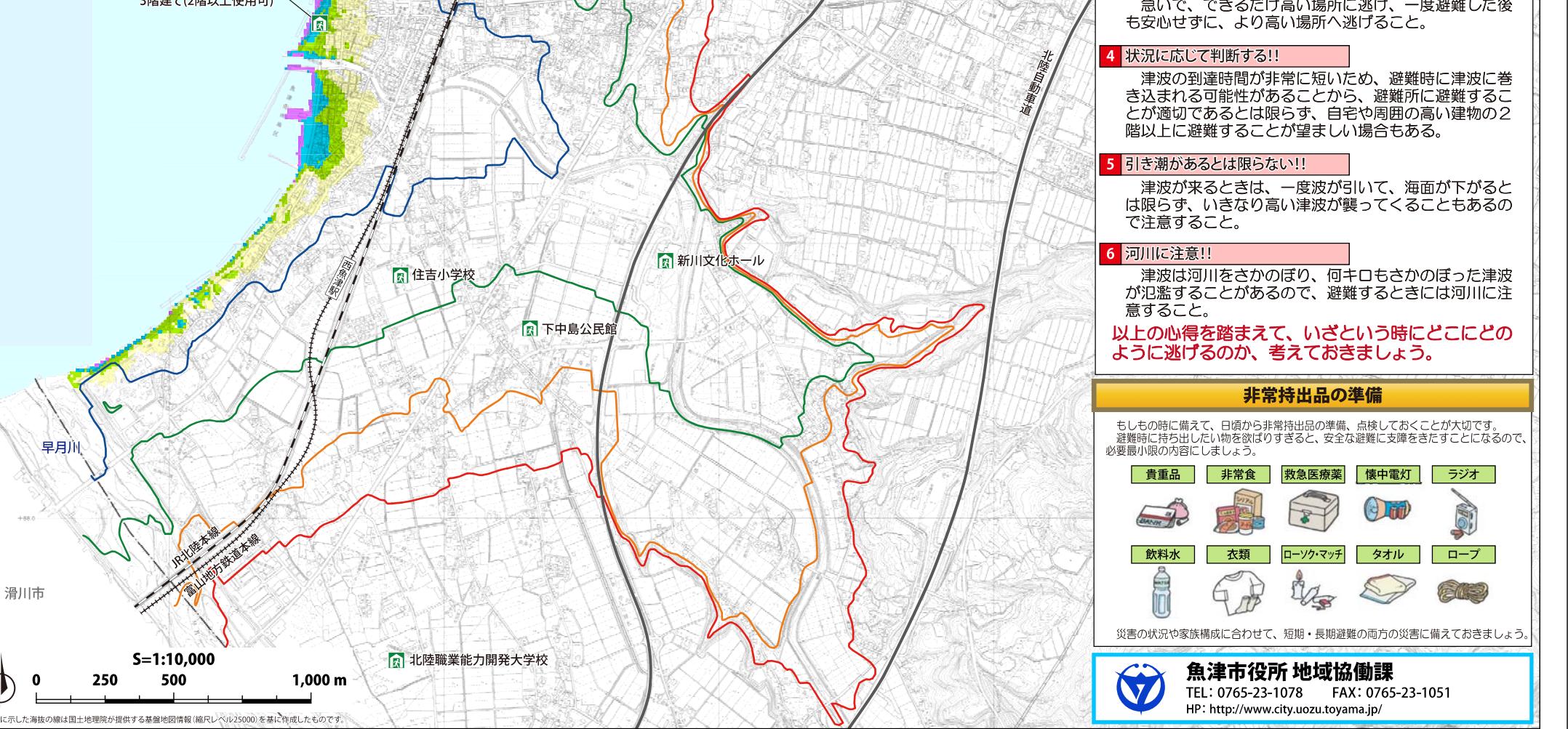
凡例

- 浸水深 2.0~5.0m
- 浸水深 1.0~2.0m
- 浸水深 0.5~1.0m
- 浸水深 0~0.5m
- 海拔 5m
- 海拔 10m
- 海拔 15m
- 海拔 20m
- 行政機関
- 警察署・交番
- 消防署
- + 病院

二次避難所(建物)

*津波の到達時間が非常に短いため、避難時に津波に巻き込まれる可能性があることから、二次避難所に避難することが適切であるとは限らず、自宅や周囲の高い建物の2階以上に避難することが望ましい場合もあります。

大町公民館
3階建て(2階以上使用可)



東日本大震災の大津波から多くの中小学校が生き延びた
「釜石の奇跡」に学ぶ津波避難の③原則

- ① 想定にとらわれるな → 自然現象としてあらゆる事態が起こる
 - ② 最善を尽くせ → その状況下でできる限りの行動をとる
 - ③ 率先避難者たれ → 集団心理が働き多くの人を救う
- 群馬大学大学院 片田敏孝教授提唱

津波警報・注意報の種類

分類	津波の高さ表現	想定される津波のリスク
大津波警報	10m超 (10m~)	巨大な津波が襲い壊滅的な被害が生じる。
	10m (5~10m)	巨大な津波が襲い甚大な被害が生じる。
	5m (3~5m)	津波が襲い甚大な被害が生じる。 木造住宅が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波警報	3m (1~3m)	標高の低いところでは津波が襲い被害が生じる。 浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (0.2~1m)	海の中の海岸付近では津波による被害が生じる。 海の中にいると速い流れに巻き込まれ、小型船舶の転覆などが生じる。

津波の特徴を知りましょう

1 津波の速度は速い!!

津波の陸上での速さは、10m/秒と言われてあり、普通の人が走っても津波からは逃げ切れません。



2 津波の力は強い!!

浸水深が50cm程度の津波でも大人が立っていられないほどの力を持っています。



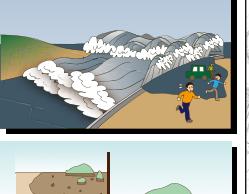
3 津波は繰り返し襲ってくる!!

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。第1波が小さくても、後からくる波の方が高い場合があります。



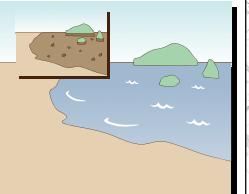
4 津波は河川を遡上する!!

津波が河川を遡上することで、堤防が決壊し、氾濫することがあります。



5 引き潮があるとは限らない!!

津波の前には引き潮があるといわれますが、地震の種類や震源付近の地形などの影響により引き潮が起きないこともあります。



津波避難時の心得

1 率先して逃げる!!

自ら率先して逃げること。

2 すぐに高い場所へ逃げる!!

体で感じる揺れが小さいからといって、津波も小さいとは限らない。揺れが小さくても津波警報がでたときは、すぐに高い場所へ避難すること。

3 より高い場所へ逃げる!!

急いで、できるだけ高い場所に逃げ、一度避難した後も安心せずに、より高い場所へ逃げること。

4 状況に応じて判断する!!

津波の到達時間が非常に短いため、避難時に津波に巻き込まれる可能性があることから、避難所に避難することが適切であるとは限らず、自宅や周囲の高い建物の2階以上に避難することが望ましい場合もある。

5 引き潮があるとは限らない!!

津波が来るときは、一度波が引いて、海面が下がるとは限らず、いきなり高い津波が襲ってくることもあるので注意すること。

6 河川に注意!!

津波は河川をさかのぼり、何キロもさかのぼった津波が氾濫することがあるので、避難するときには河川に注意すること。

以上の心得を踏まえて、いざという時にどこにどのように逃げるのか、考えておきましょう。

非常持出品の準備

もしもの時に備えて、日頃から非常持出品の準備、点検しておくことが大切です。避難時に持ち出したい物を欲しきると、安全な避難に支障をきたすことになるので、必要最小限の内容にしましょう。



災害の状況や家族構成に合わせて、短期・長期避難の両方の災害に備えておきましょう。



魚津市役所 地域協働課

TEL: 0765-23-1078 FAX: 0765-23-1051

HP: <http://www.city.uozu.toyama.jp/>

平成25年3月作成